

生徒の学びを支えるための授業チェックシート

	生徒に合わせる	評価	生徒に伝える	評価	生徒を認める	評価
1 学級経営	一貫した対応をする		見通しがもてるように予定を伝える		生徒同士が互いの良さを認め合う機会をつくる	
			HRの中でのルールをわかりやすく伝える		大声を出す、席を離れるなど、生徒の行動の意味を考える(例：注目してほしい、指示がわかりづらい)	
2 授業の構成	生徒の実態に合わせ、達成可能な目標やねらいを設定する		設定した目標やねらいをわかりやすく伝える		伸びる力に目を向け、積極的に生徒の良いところを見つけてほめる	
	生徒に合わせて授業の構成を工夫する		生徒に学習の流れを伝える		説明中心でなく、生徒が取り組みたいと思う学習場面をつくる	
	活動内容や課題の難易度を生徒に合わせて数種類用意し、選択できるようにする		授業に取り組みやすいように準備しておくことを伝える		約束ごとが守れたり、望ましい行動をとれたりしたときには、すぐにほめる	
	書く時間、読む時間等、活動の時間を明確化する		解答を導くための手がかりを伝える		生徒の特性を認める	
	作業や課題は達成可能な量になるよう、小さなまとまりに分ける				生徒が課題に取り組みめるよう励ます	
	内容が理解できているか授業の中で複数回確認する					
	机間指導の時間を多く設定し個別に対応する					
	話題にメリハリをつけ生徒が退屈しない授業を心がける					
3 学習環境	生徒の実態にあわせて環境(刺激)を調整する		掲示物を整理して、必要な情報のみを伝える		生徒が達成感を感じられる展示を工夫する	
	本人の希望や支援のしやすさ等から座席の配慮をする		授業中の禁止事項を掲示する			
	机間指導や生徒の移動がしやすいように通路のスペースを確保する		発言や態度についてのルールを明確にして、必要な情報を掲示する			
4 板書の工夫	文字を詰めず、生徒にわかりやすい文字量にする		重要箇所は色チョークで強調する			
	生徒にわかりやすい文字の大きさを書く		板書の書式(左から右へ書くなど)を決めて伝える			
	生徒にわかりやすいレイアウトにする		ノートをとる必要のある箇所をはっきりさせる			
	教師の板書の時間を短くする		黒板に指示内容を書く			
	教科書〇ページ、プリント〇番と板書をする		「〇〇分まで」と終わりの時間を黒板に書いて伝える			
	授業に関係ない板書はしない		授業の流れを板書し見通しをもたせる			
5 ノートテイクの工夫	ノートを取る時間を十分に確保する		ノートやプリントに書く内容と書き方を具体的に伝える		少しでも書けていることを認めてほめ、最後まで取り組み続けられるように、励ます	
	プリントは見やすいレイアウトにする		ノートの取り方を指導する			
	生徒の実態に応じたプリントやワークシートを用意する					
6 教材教具・支援機器の工夫	生徒の実態にあわせた多様な教材を用意する		イラストや写真、フラッシュカード等で視覚化する			
	教科書以外の機器や教材を積極的に活用する		実物見本を活用する			
			ICTを積極的に活用する			
7 指示の出し方・話し方	生徒にあわせた指示の出し方や話し方をする		適切な声量で、間をとり、ゆっくり話す		生徒が話そうとしていることを適切なことばで表現したり、補ったりする	
	板書をしているときには説明はしない		簡潔でわかりやすい言葉づかいで伝える		好奇心ややる気をそそる発問を工夫する	
	全体指示の後で、個別に指示をする				自信がもてる問いかけの工夫をする	
8 学習形態	生徒の得意な部分を活かして役割を決める		グループのねらいをわかりやすく伝える		生徒同士が互いの良さを認め合う場面を設定する	
	メンバーに留意してグループを決める				グループ分けを肯定的な意味づけで行う	
	複数の教師で指導を行う場合、教師間の連携をとっている				スモールステップによる課題で達成感をもたせる	
	一斉学習だけでなく、生徒の習熟度や学習のねらいに合わせた学習形態を考える				ペア学習、グループ学習により生徒同士が教えあう機会を多く設定する	
9 テストの配慮・学習の評価	いろいろな評価を用意する		テストの際、何をすべきか(実施要項や目的)を明確に伝える		テストの際、どういう配慮が必要か生徒と話し合う	
	テストやレポート等の時間の調節をする		事前にテストのやり方を伝える		評価の際、積極的に生徒の良いところを見つけてほめる	
	テスト用紙の工夫をする		テストで何が求められているか、具体的な言葉で伝える		生徒の積極的な参加はその場でほめる	
	問題の出し方や答え方の選択の幅をもたせる				生徒の成長を分かち合う	
	テストの受け方に選択の幅をもたせる					
	テストの解答において、本筋でないところで減点せずに、許容度を広げる					

【チェックの方法】
 「いつもしている ○」「時々している △」「まったくしていない ×」の3段階と、生徒の実態より、実施する必要のない項目と考えられるものについては「/」の記号を評価欄に記入する。

(参考：国立特別支援教育総合研究所
 「先生の授業作りチェックシート」)

支援に役立つ情報サイト

- ◆千葉県総合教育センター特別支援教育部 <http://www.ice.or.jp/~i-tokubetu/>
- ◆千葉県子どもと親のサポートセンター <http://cms2.chiba-c.ed.jp/kosapo/>
- ◆千葉県教育委員会 <http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/index.html>
- ◆文部科学省 <http://www.mext.go.jp/>
- ◆独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 <http://www.nise.go.jp/>
- ◆千葉県発達障害者支援センターCAS <http://www5e.biglobe.ne.jp/~cas-cas/>
- ◆千葉県健康福祉部障害福祉課 <http://www.pref.chiba.lg.jp/shoufuku/index.html>
- ◆独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 発達障害教育情報センター <http://icedd.nise.go.jp/>
- ◆社団法人 日本自閉症協会 <http://www.autism.or.jp/>
- ◆NPO 法人 えじそんくらぶ <http://www.e-club.jp/>
- ◆NPO 法人 アスペ・エルデの会 <http://www.as-japan.jp/>
- ◆社会福祉法人 全日本手をつなぐ育成会 <http://www.ikuseikai-japan.jp/>

引用・参考文献

- ◆LD・ADHD・高機能自閉症の子どもの指導ガイド 独立行政法人 国立特殊教育総合研究所 東洋館出版社
- ◆中学・高校におけるLD・ADHD・高機能自閉症等の指導 自立をめざす生徒の学習・メンタル・進路指導 東洋館出版社
- ◆通常学級にLD・ADHD・高機能自閉症の指導 つまずきのある子の学習支援と学級経営 東洋館出版社
- ◆小・中学校等における発達障害のある子どもへの教科教育等の支援に関する研究
平成20年～21年度 研究成果報告書 独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所（平成22年3月）
- ◆障害のある子どもへの一貫した支援システムに関する研究
—後期中等教育における発達障害への支援を中心として— 平成20年～21年度研究成果報告書（平成22年3月）
- ◆LD・ADHD通級指導教室における学習プログラム 千葉県総合教育センター
- ◆ガイドブック 通常学級における特別な教育的ニーズのある子どもへの支援
こだわりの強い子・コミュニケーションの苦手な子・自閉症のある子のために 千葉県総合教育センター
- ◆高等学校における特別支援教育の推進について 高等学校ワーキング・グループ報告
特別支援教育の推進に関する調査研究協力者会議高等学校ワーキング・グループ（平成21年8月27日）文部科学省
- ◆斎藤万比古 発達障害が引き起こす二次障害へのケアとサポート 学研
- ◆河村茂雄 2006 学級づくりのためのQ-U入門 「楽しい学校生活を送るためのアンケート」活用ガイド 図書文化社
- ◆河村茂雄 2011 専門学校の先生のためのhyper-QUガイド
退学予防とキャリアサポートに活かす“学校生活アンケート” 図書文化社
- ◆河村茂雄・苅間澤勇人・粕谷貴志・武蔵由佳 2004
Q-Uによる学級経営スーパーバイズ・ガイド—高等学校編— 図書文化社
- ◆河村茂雄 2010 日本の学級集団と学級経営 —集団の教育力を生かす学校システムの原理と展望— 図書文化社

研究講師及び研究協力員一覧

(敬称略)

<講師>

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 総括研究員 大城 政之 (平成 21 年度～23 年度)

<研究協力校>

県立高等学校 (全日制) 1 校 (平成 22 年度～23 年度)

県立高等学校 (定時制) 1 校 (平成 22 年度～23 年度)

<研究協力員>

千葉県教育庁教育振興部指導課	指導主事	渡部 清	(平成 21 年度)
	指導主事	神房 嘉子	(平成 22 年度)
千葉県教育庁教育振興部特別支援教育課	指導主事	伊藤 康弘	(平成 21 年度)
	指導主事	年光 克水	(平成 22 年度～23 年度)
子どもと親のサポートセンター	主任指導主事	田邊 昭雄	(平成 21 年度～22 年度)
県立高等学校	副校長	遠藤 繁	(平成 22 年度)
	副校長	川島 充之	(平成 23 年度)
	教諭	鈴木 康裕	(平成 21 年度～23 年度)
	教諭	千葉 雅也	(平成 21 年度～23 年度)
	教諭	牧 伸裕	(平成 21 年度～22 年度)
	教諭	上原 美和	(平成 23 年度)
	教諭	伴 火穂	(平成 22 年度～23 年度)
	教諭	西尾 多道	(平成 23 年度)
県立特別支援学校	教諭	松澤 淳一	(平成 23 年度)

※所属・職名は当該年度当時

高等学校教員のためのガイドブック

実践

高等学校における学びを支えるための支援ガイドブック

平成 24 年 3 月

発行：千葉県総合教育センター

〒261-0014 千葉市美浜区若葉 2-13

TEL 043-276-1166 FAX 043-272-5128

HP アドレス <http://www.ice.or.jp/~i-sole/>

*なお、このガイドブックに関するお問い合わせは、特別支援教育部あてにお願いいたします

千葉県総合教育センター 特別支援教育部 TEL 043-207-6023

HP アドレス <http://www.ice.or.jp/~i-tokubetu/>

<イラスト> 研究協力員 西尾 多道



CD貼付

